

JCIGS' 94

国際ジオテキスタイル学会日本支部

1994年度通常総会議事録（案）

期 日 : 平成6年1月28日（金） 14:00～17:00
会 場 : （社）土質工学会第1会議室（東京都千代田区）
出席者 : 151名（内 委任状117名）
議 事 :

議題 1. 開会および総会成立の宣言

岩崎高明幹事長が開会を宣言した。また、会員数 203名（個人181名、特別22名）の内 151名の出席があり、規定7.2.4の定数（全会員数の1割以上）を越して成立した旨が報告された。

議題 2. 議長選出

福岡正巳支部長を、議長に選出した。

議題 3. 議長挨拶

福岡正巳議長から次のような挨拶があった。「1984年にこのIGS日本支部が発足したときには、個人会員30名、特別会員1社程度と予想していたが、その予想を大きく上回る会員数になった。1985年のデンバーで開催されたジオメンブレン国際会議以降海外ではジオメンブレンの分野が活発になった。日本支部でも、昨年ジオメンブレン技術委員会が設置され日本のジオメンブレン技術のレベルアップを図りはじめました。なお、今年9/5～9にシンガポールで第5回IGS国際会議が開催される。本日は多数出席していただき、十分な審議をお願いしたい。」

議題 4. 1993年度事業の報告

岩崎高明幹事長より資料に基づき報告があり、質疑のあと了承された。

議題 5. 1993年度収支決算の報告

丸山健吉会計幹事（代 藤田氏）より資料に基づき報告があり、質疑のあと了承された。

議題 6. 1993年度監査報告

堀家茂一監事（代 岩崎氏）より深井慎也・堀家茂一両監事による監査の結果が、資料に基づき報告され了承された。

議題 7. 1994年度事業の計画

岩崎高明幹事長より資料に基づき報告があり、質疑のあと了承された。

議題 8. 1994年度予算の計画

丸山健吉会計幹事（代 藤田氏）より資料に基づき報告があり、質疑のあと了承された。

議題 9. 1994年度一部役員の変更

岩崎高明幹事長より資料に基づき報告があり、了承された。

議題 10. 閉会の挨拶

福岡正巳議長からの閉会挨拶の後、同会場で懇親会が行われた。

（記 熊谷 浩二）

資料〔議題4. 1993年度事業の報告〕

1) 会員数

	名誉会員	個人会員	学生会員	特別会員	計
1993年1月	1名	163名	41名	20社	225
6月	1名	169名	45名	20社	235
9月	1名	174名	43名	22社	240

(グループ1含む)

2) 刊行物等の発行

- ①国際ジオテクスタイル学会日本支部名簿(1993.1)
- ②ジオテクスタイル技術情報(日本支部ニュース)(1993.3.7,12)
- ③IGS日本支部講演会テキスト(1993.11)
- ④第8回ジオテクスタイルシンポジウム発表論文集(1993.12)
- ⑤1991年ジオシンセティックス使用量のアンケート調査報告(1993.7)

3) 開催した行事

- ①IGS日本支部講演会(11/10(水)於 中央大学記念館 参加者 50名)
海外に於ける最近のジオテクスタイル事情
- ②学生向講演会(11/18(木)於 東京理科大 講師 福岡教授 参加者 30名)
- ③第8回ジオテクスタイルシンポジウム
(12/1(水)於 中央大学記念館 参加者 110名)

4) 委員会等の活動

- ①1993年度通常総会(1/29(金))
- ②幹事会 4回(1/22, 8/10, 10/1, 12/1)
- ③編集委員会、小委員会等 7回(1/29, 5/14, 6/15, 9/1, 10/6, 11/15, 12/13)
アンケート調査委員会(3/23 再調査依頼 8/27報告書)
- ④行事委員会 1回(11/2)
- ⑤ジオメンブレン技術委員会(9/12 入会依頼出状 11/17, 12/21)

5) IGS本部の関連

- ①理事会への出席(於 ミラノ10/19, 20): 福岡支部長、赤木理事
- ②英文名簿本部送付(9/13)

(収入の部)

科	目	予	算	決	算	備	考
1	会費収入 個人 8,000- 法人 240,000- 学生 3,000- (小計)	180名 23社 44名	1,440,000- 5,520,000- 132,000- (7,092,000)	153名 21社 18名	1,219,000- 5,040,000- 54,000- (6,313,000)		
2	講習会参加費		200,000-		69,000-		
3	シンポジウム論文集		200,000-		242,000-		
4	出版物、広告収入		250,000-		136,950-		
5	IGS本部還付金		330,000-		330,791-		
6	受取り利息		15,000-		214,928-		定期戻入
	小計		8,087,000-		7,306,669-		
7	前年度繰越金		▲ 527,021-		▲ 527,021-		
8	その他		50,000-		50,000-		
	合計		7,609,979-		6,829,648-		

(支出の部)

科	目	予	算	決	算	備	考
1	国際学会費 個人 40Fℓ 法人 1,000Fℓ 学生 10Fℓ (小計)	180名 23社 44名	1Fℓ = 130円 1,053,000- 2,990,000- 57,000- (4,100,000)	169名 20社 45名	(3,515,579)		
2	国際会議派遣費		250,000-		125,000-		
3	ニュース印刷費		400,000-		676,284-		
4	講習会費		350,000-		245,417-		
5	シンポジウム費		350,000-		266,418-		
6	各種委員会費		350,000-		310,597-		
7	事務経費		100,000-		100,000-		
8	通信費		270,000-		254,428-		
9	消耗品費		80,000-		51,807-		
10	印刷製本代		80,000-		61,455-		
11	備人費		1,000,000-		999,800-		
12	手数料		40,000-		25,943-		
13	積立金		200,000-		-----		
14	その他		30,000-		245,965-		
15	予備費		0-		-----		
	小計		7,600,000-		6,878,693-		
16	次年度繰越金		9,979-		▲ 49,045-		
	合計		7,609,979-		6,829,648-		

監査報告書

国際ジオテキスタイル学会日本支部

1993年(平成5年度)収支決算報告書
(自平成5年1月1日～至平成5年12月31日)

収入合計 ￥6,829,648-

支出合計 ￥6,829,648-

上記につき預金通帳・領収書に基き、帳簿を監査の結果適正でかつ正確であることを認めます。

平成6年1月26日

会計監事 堀家 茂一

会計監事 深井 慎也



資料〔議題7. 1994年度事業の計画〕

1) 会員数拡大のための活動

	名誉会員	個人会員	学生会員	特別会員	計
1994年1月	1名	180名	43名	22社	246
(目標)	1名	200名	50名	25社	276

(グループ1を含む)

2) 刊行物の発行

- ①国際ジオテキスタイル学会日本支部会員名簿(1994. 1)
- ②ジオテキスタイル技術情報(IGS日本支部ニュース)
3回/年(3, 7, 11月発行)
- ③講習会テキスト
- ④第9回ジオテキスタイルシンポジウム発表論文集(1994. 12)

3) 行事の開催

- ①ジオテキスタイル講習会(第5回シンガポール国際会議報告)
- ②ジオメンブレン技術に関するセミナー(第1回3/16(水)中大610号室の予定)
- ③第9回シンポジウム(12/1(木) 於 東京)
- ④国際会議出席旅行団
- ⑤学生向け講習会
- ⑥ジオテキスタイル試験方法シンポジウム(土質工学会)
- ⑦その他

4) 委員会の活動

- ①1994年度通常総会(1月28日)
- ②幹事会 4回(1, 4, 9, 11月)
- ③編集委員会 6回(1, 2, 5, 7, 9, 12)
- ④企画委員会
- ⑤行事委員会
- ⑥ジオメンブレン技術委員会

5) IGS本部の関連

- ①総会及び理事会 第5回シンガポール国際会議(9/5～9/9)への出席
- ②IGS本部への報告および連絡
- ③英文名簿の本部送付

1994年度(平成6年度)予算計画案
(自平成6年1月1日～至平成6年12月31日)

1993年1月20日
会計幹事 丸山 健吉

資料〔議題9. 1994年度一部役員の変更〕

(収入の部)

科 目	予 算	備 考
1 会費収入 個人 8,000- 特別 240,000- 学生 3,000- (小計)	200名 1,600,000- 25社 6,000,000- 50名 150,000- (7,750,000)	
2 講習会テキスト	250,000-	
3 シンポジウム論文集	250,000-	
4 出版物、広告収入	100,000-	
5 I G S 本部還付金	270,000-	
6 受取り利息	4,000-	
小計	8,624,000-	
7 前年度繰越金	▲ 49,045-	
8 その他	-----	
合計	8,574,955-	

(支出の部)

科 目	予 算	備 考
1 国際学会費 個人 45F¥ 特別 1,000F¥ 学生 10F¥ (小計)	200名 1,035,000- 25社 2,875,000- 50名 57,000- (3,967,000)	1F¥= 115円
2 国際会議派遣費	500,000-	
3 ニュース印刷費	740,000-	
4 講習会費	360,000-	
5 シンポジウム費	300,000-	
6 各種委員会費	510,000-	
7 事務経費	100,000-	
8 通信費	300,000-	
9 消耗品費	60,000-	
10 印刷製本費	70,000-	
11 備人費	1,100,000-	
12 手数料	30,000-	
13 積立金	0-	
14 その他	30,000-	
15 予備費	500,000-	
小計	8,567,000-	
16 次年度繰越金	7,955-	
合計	8,574,955-	

役員の変更 ○印

支 部 長	福 岡 正 巳	東京理科大学理工学部土木工学科
支 部 副 長	田 中 内 豊	(財)建設工学研究所
〃	山 内 豊 聡	九州産業大学工学部土木工学科
幹 事 長	岩 崎 高 明	三井石油化学工業(株)、三井石化産資(株)
幹 事	赤 木 俊 允	東洋大学工学部土木工学科
〃	阿 部 裕	鹿島建設(株)技術研究所
〃	新 井 齊	前田建設工業(株)営業本部土木営業第3部
〃	伊 藤 雅 夫	前田建設工業(株)技術研究所
〃	笠 原 清 麿	前田工織(株)技術部
○	菊 地 洋 司	日特建設(株)基礎本部
〃	熊 谷 浩 二	前田建設工業(株)技術研究所
○	小 林 祥 克	三井石化産資(株)土木資材事業部
〃	坂 口 昌 彦	大成建設(株)技術研究所土質基礎グループ
〃	鈴 木 茂	ゼオン化成(株)土木資材事業部
〃	田 中 雅 敏	(株)田中 開発部
〃	塚 本 英 樹	(株)建設企画コンサルタント総務部
〃	鶴 岡 胤 英	(株)鏡高組 技術研究所
〃	中 村 和 之	東急建設(株)技術研究所
〃	中 矢 隆 雄	(株)クラレ 東京産業資材部建設資材課
〃	西 形 達 明	関西大学工学部土木工学科
〃	橋 詰 文 伯	大都工業(株)技術研究室
〃	平 井 孝 典	清水建設(株)土木本部技術第一部
○	深 井 慎 也	東レ(株) アクスター事業部
〃	細 谷 芳 巳	(株)大林組 技術研究所土木第2研究室
○	堀 口 隆 司	(株)ジオトップ 開発部
〃	堀 家 茂 一	(株)熊谷組 技術開発本部土木技術第2部
〃	巻 内 勝 彦	日本大学理工学部交通土木工学科
〃	樹 尾 孝 之	太陽工業(株)土木エンジニアリング事業部
幹事(会計担当)	丸 山 健 吉	岡三興業(株)開発部
幹 事	三 木 博 史	建設省土木研究所材料施工部土質研究室
〃	宮 田 昌 暢	シーアイ化成(株)土木産業資材部
○	村 田 修	(財)鉄道総合技術研究所土質基礎研究室
〃	山 下 恒 雄	農林水産省四国農業試験場基盤整備室
〃	大 和 真 一	旭化成工業(株)ジオ技術開発部
〃	吉 川 進	三菱油化産資(株)土木資材部
〃	渡 義 治	(株)水野工学研究所
会 計 監 事	深 井 慎 也	前 掲
〃	堀 家 茂 一	前 掲
事 務 局	吉 岡 紀 男	(社)土質工学会総務部
〃	森 田 敏 郎	